

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

会社経営の基本理念

鉄鋼事業を中核として、豊かな価値の創造・提供を通じ、顧客と社会に貢献する

売上高
200億円以上ROS
8.0%以上配当性向
30.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. みがき帯鋼事業

短納期、小ロット、高品質により日本のモノづくり現場を支える。
狭幅みがき帯鋼の厳格公差対応と柔軟な母材活用が強み

3. プレスプレート事業

ハイエンドニーズに応える商品力で世界の電子部品産業の発展に貢献。
戦略商品TPPの独自熱処理技術で高パフォーマンス

2. エンボス事業

機能性・意匠性両面で人々の暮らしに快適さと彩りを添える。オンリーワンのランナーステンレスを主力として採用促進

4. ステンレス流通事業

小ロット短納期のサービス拡充と地域密着営業強化、他社連携で顧客ニーズを先取り

③ 対処すべき課題

① 市場環境への対応

- 自動車部品向けは個人消費・販売台数・為替相場の変動影響を受ける
- 脱炭素化によるみがき帯鋼需要減少の懸念に対応が必要
- ステンレス市況動向とみがき帯鋼原料価格改定の影響への対応

② 事業別課題への取り組み

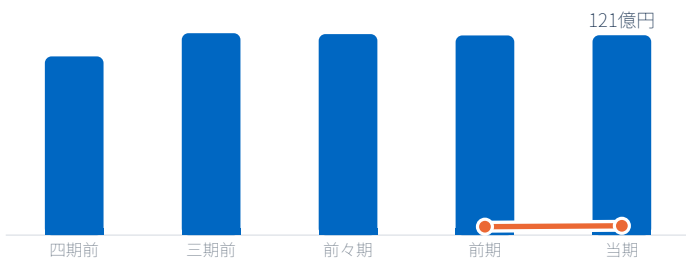
- みがき帯鋼事業は高品質対応で顧客選別と新規開拓を強化
- エンボス事業はパートナー企業連携で用途開発を推進
- プレスプレート事業はハイエンド領域拡大で新規取引を開拓

面接で使えるポイント

- 2026年度中期計画で売上200億円以上、ROS8.0%以上を目指す成長戦略
- みがき帯鋼・エンボス・プレスプレートの3事業で多能工化による柔軟な稼働体制を構築
- 自動車部品向け需要の変動や脱炭素化への対応を通じた長期的な競争力確保

証券コード 5458

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

ステンレス鋼帯製品の製造・販売を主力とする鉄鋼メーカー

主力事業・セグメント

・鉄鋼（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・平均勤続18.4年と定着率が高い

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
121億円営業利益率
4.7%財務健康度
45点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 40.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
602万円

鉄鋼内 29位/38社

平均年齢
46.9歳

鉄鋼内 2位/38社

平均勤続
18.4年

鉄鋼内 14位/38社

女性管理職
8.3%

鉄鋼内 4位/32社

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

